

2023年10月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、個人消費は持ち直しているが
住宅建設は減少し、企業活動の一部にやや弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2023年10月30日公表）において、「景気は、緩やかに回復している」との判断が維持された。個別項目については、企業の「業況判断」で判断が引き上げられた。先行きについては、イスラエルとハマスの軍事衝突を受けて「中東地域をめぐる情勢」に十分注意する必要があると指摘している。

以下では、「全国的情勢」、「和歌山県的情勢」を主要経済指標（主に9月の値）に基づき報告する。

全国的情勢

① 需要動向に関して、「個人消費」、「設備投資」、「公共投資」、「住宅建設」、「輸出」の全ての項目で判断が維持された。

② 企業活動に関して、「生産」、「設備投資」、「倒産件数」、「企業収益」のいずれについても判断が維持された。「業況判断」については、日銀短観（9月）において、大企業製造業の業況判断指数（DI）が2期連続で改善したこともあり、「総じてみれば緩やかに改善している」との判断に引き上げられた。

③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。

④ 物価に関しては、「消費者物価」が「上昇している」、「国内企業物価」については、「緩やかに下落している」との判断が維持された。

⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している」との判断が維持された。国・地域別では、個人消費や生産活動に弱さがみられるドイツにおいて、景気判断が下方修正された。

和歌山県的情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（9月）は、前年同月比2.6%増となり12か月連続で前年を上回った。近鉄百貨店和歌山店の販売額（9月）も前年同月比6.6%増となっており、持ち直しの動きが続いている。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、9月）は、前年同月比8.1%増となった（増加は13か月連続）。半導体不足の緩和によりメーカーの新車供給量が持ち直している。ただし、コロナ禍前（2018年9月）の販売台数との比較では11.5%減となっており、依然としてコロナ禍前の水準は回復できていない。

新設住宅着工戸数（9月）は、前年同月比34.8%減となり、2か月連続で前年を下回った。また、1～9月累計での着工戸数は前年同期比17.6%減となっており、大きく減少している。資材価格の高騰や物価高の影響で、住宅価格が上昇していることから、全国的に「持家」の着工戸数は低水準にある。

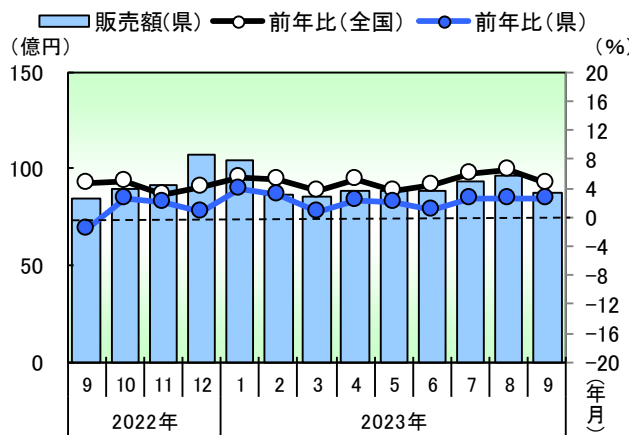
② 企業活動面では、鉱工業生産指数（8月）は、前月比0.4ポイント上昇（上昇は2か月連続）するも、その水準は直近の最高値104.0（2022年11月）に比べて、13.2ポイント低い。下降要因としては、はん用機械工業、石油・石炭製品工業、化学工業における生産指数の低下である。

公共工事請負金額（9月）は、前年比6.5%増となったが、4～9月累計での請負金額は前年同期比9.1%減となっており、2022年度に引き続き公共工事請負金額は減少傾向にある。地域別では、和歌山市を含む和歌山地区、橋本地区、湯浅地区等で請負金額が減少する一方、田辺地区、串本地区については増加している。

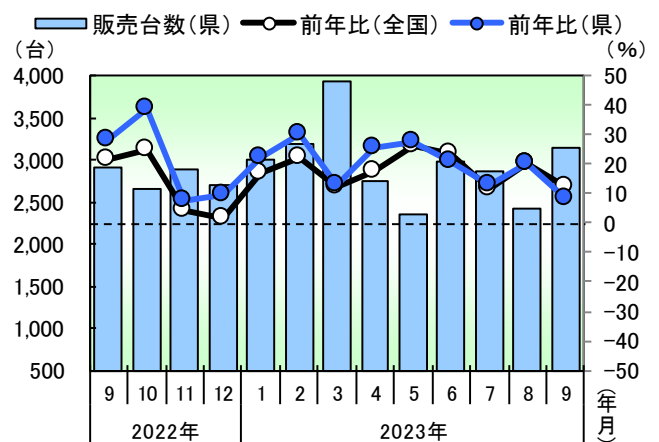
帝国データバンクが発表している県内TDB景気DI（9月）は、前月から0.6ポイント上昇（上昇は2か月ぶり）。製造業で景気DIが2か月連続で上昇している。帝国データバンクは、「為替状況や人材不足など不安要素も多く、景況感の大幅上昇は期待しにくい。インバウンド消費を含めた個人消費の回復に支えられ、足下の県内経済は緩やかな回復基調をたどるものと予想される」としている。

③ 雇用面については、有効求人倍率（9月）は、前月から0.02ポイント下降し1.11倍となった（下降は2か月ぶり）。有効求職者数が増加傾向にある中で、有効求人数は横ばいで推移している。経済活動の正常化に伴い、人手不足感が強まる一方で、原材料価格や光熱費の高騰により、人手不足でも人材を採用できない企業が増えているものと考えられる。

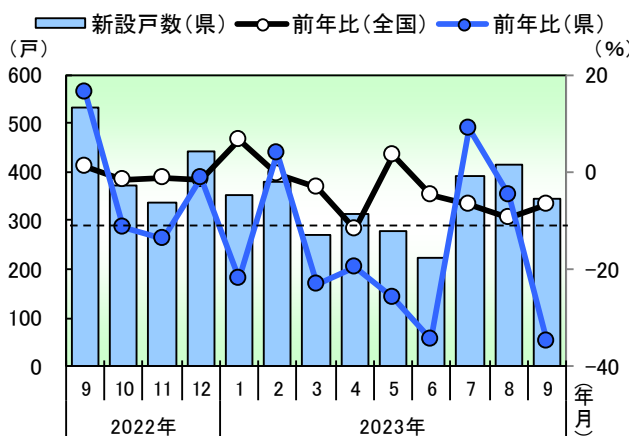
百貨店・スーパー販売額



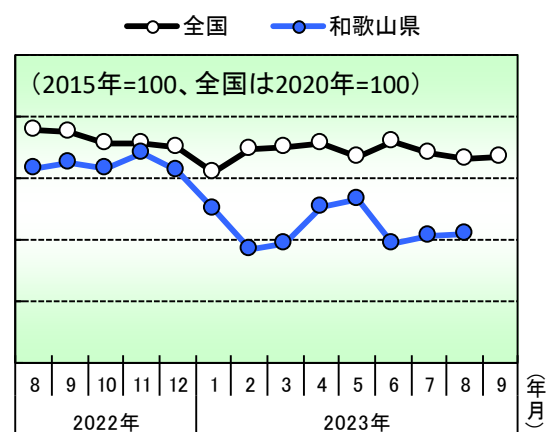
新車(登録車+軽自動車)販売台数

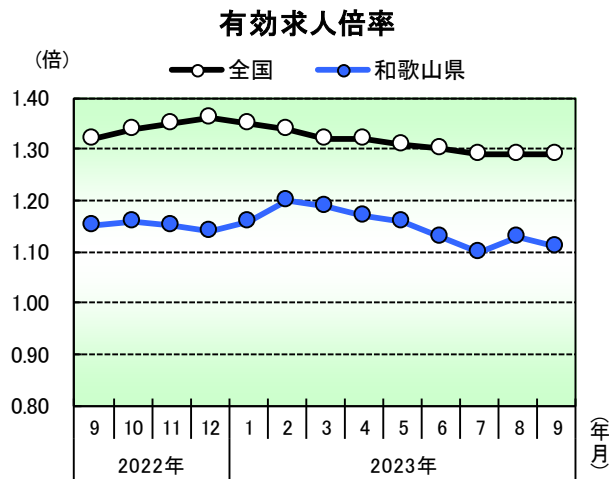
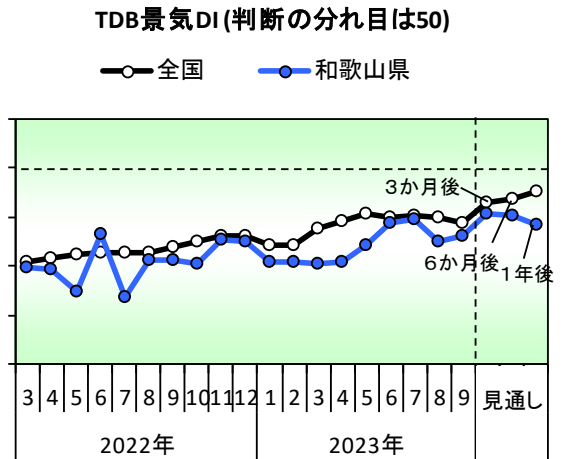
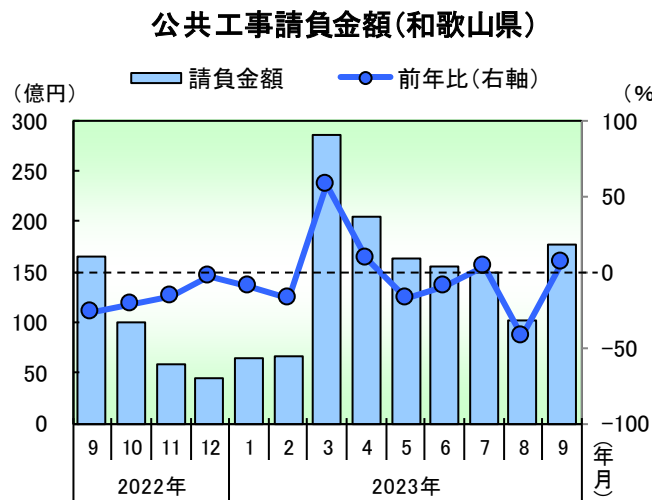
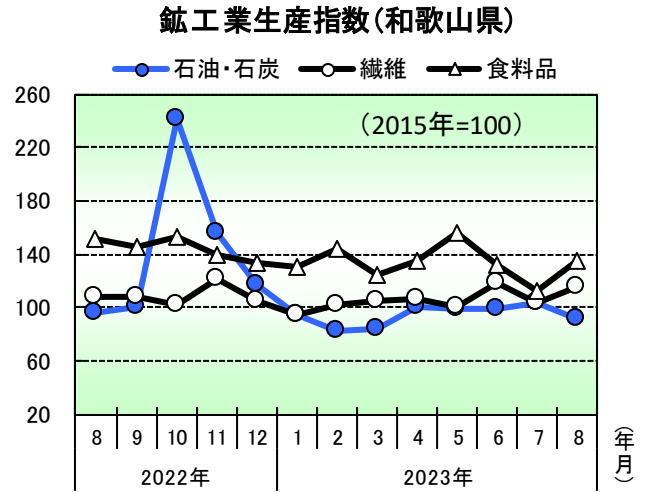
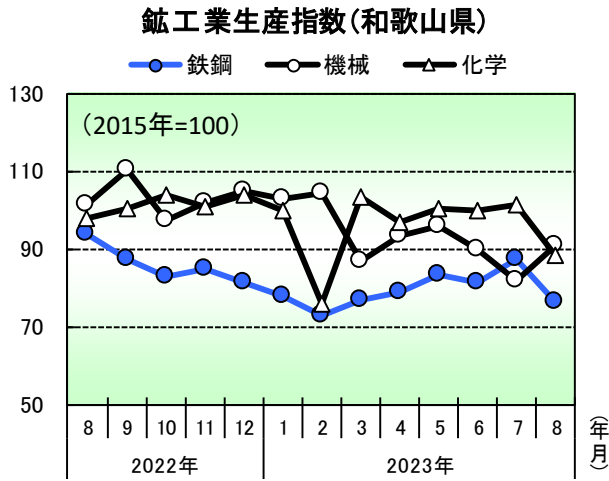


新設住宅着工戸数



鉱工業生産指数





(資料)株式会社データバンク

(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2018年	1,211	0.0	-2.1	38,949	0.2	0.7	4,935	-2.3	8.7
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2022年8月	93.6	4.3	1.7	2,001	-12.1	-12.7	436	4.6	18.5
9月	85.0	4.8	-1.6	2,899	21.4	27.9	531	1.1	16.2
10月	89.3	4.9	2.6	2,648	25.1	38.6	372	-1.8	-11.4
11月	92.0	3.0	2.0	2,877	4.5	7.5	338	-1.4	-13.8
12月	107.8	4.1	0.7	2,696	1.6	9.2	444	-1.7	-1.1
2023年1月	104.4	5.5	3.8	2,999	16.6	22.3	354	6.6	-22.0
2月	86.7	5.2	3.0	3,185	22.1	30.4	378	-0.3	3.8
3月	85.9	3.6	0.8	3,942	12.2	13.2	271	-3.2	-23.2
4月	88.4	5.2	2.2	2,754	17.4	25.2	312	-11.9	-19.8
5月	88.5	3.7	2.0	2,350	26.2	27.2	278	3.5	-25.9
6月	88.5	4.3	1.0	2,973	23.4	20.8	225	-4.8	-34.6
7月	93.4	5.9	2.7	2,866	11.7	12.7	390	-6.7	8.9
8月	96.1	6.5	2.6	2,410	20.2	20.4	415	-9.4	-4.8
9月	87.2	4.8	2.6	3,133	11.9	8.1	346	-6.8	-34.8

(2023年10月31日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2018年	114.6	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1,487.6	15.1	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2022年8月	107.8	101.3	93.8	101.3	97.8	96.0	108.2	151.1	1,768.8	12.5	40.6
9月	107.3	102.3	87.2	110.3	100.3	100.1	107.6	145.2	1,661.1	-26.9	40.6
10月	105.5	101.5	82.7	97.3	103.7	241.8	101.4	152.2	1,006.6	-21.2	40.3
11月	105.5	104.0	85.0	101.6	100.6	155.6	121.2	139.0	58.5	-16.1	42.7
12月	104.9	101.0	81.5	104.7	103.8	116.8	105.0	132.9	44.3	-2.3	42.6
2023年1月	100.8	94.7	77.6	102.6	99.8	93.7	93.9	129.6	65.1	-9.6	40.4
2月	104.5	88.2	72.7	104.1	75.7	82.6	102.5	144.3	65.8	-16.8	40.5
3月	104.8	89.2	76.7	86.8	103.3	84.4	105.2	124.2	285.3	57.1	40.3
4月	105.5	95.1	78.6	93.4	96.6	100.3	106.0	135.3	205.7	8.7	40.5
5月	103.2	96.5	83.5	95.8	100.2	98.7	100.2	155.2	162.9	-17.7	42.2
6月	105.7	89.1	81.5	89.7	99.6	99.4	118.4	131.5	155.3	-10.1	44.4
7月	103.8	90.4	87.4	81.8	101.4	102.7	103.0	112.4	150.4	3.5	44.8
8月	103.1	90.8	76.3	90.6	88.5	91.8	114.9	134.1	101.6	-42.5	42.5
9月	103.3							1,768.8	6.5	43.1	

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2023年10月31日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人 数 (人)	有効 求職者 数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2018年	1.61	1.34	17,355	12,970	19.6	18.1
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2022年8月	1.31	1.14	16,930	14,898	15.1	16.8
9月	1.32	1.15	16,836	14,664	14.2	15.4
10月	1.34	1.16	16,752	14,486	12.7	15.1
11月	1.35	1.15	16,626	14,400	14.5	15.7
12月	1.36	1.14	16,377	14,386	12.7	13.3
2023年1月	1.35	1.16	16,260	13,991	11.1	12.2
2月	1.34	1.20	16,571	13,838	15.3	18.8
3月	1.32	1.19	16,870	14,216	18.5	21.5
4月	1.32	1.17	16,849	14,373	15.4	21.0
5月	1.31	1.16	16,464	14,179	16.5	20.2
6月	1.30	1.13	16,005	14,223	14.0	17.8
7月	1.29	1.10	15,975	14,466	14.1	15.4
8月	1.29	1.13	16,291	14,453	13.3	14.5
9月	1.29	1.11	16,281	14,660	15.4	17.0

(2023年10月31日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。